

【先-8】 上下水道事業と民営ガス事業の連携による包括的管理運営スキームに係る調査業務 (対象箇所: 山口県宇部市)

【実施主体】宇部市

平成27年度

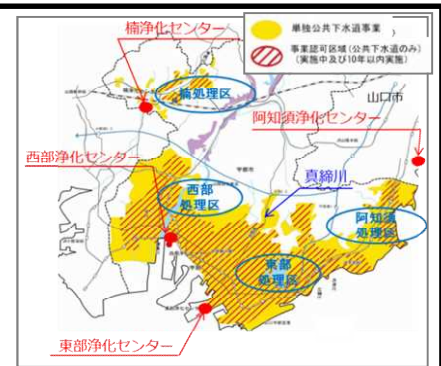
調査目的・これまでの経緯

宇部市の公共インフラ(下水道・水道・ガス)の歴史は古く、老朽化が進んでいる。今後は処理場等の再構築ならびに管路更新需要の拡大により職員負荷が増加するため、現在直営で実施している事務事業の段階的な委託化(PPP/PFI導入)および、上下水道事業と民営ガス事業の連携による効率化・サービス向上スキームを検討した。

平成26年4月 市営ガス事業を民間譲渡、上下水道局組織再編
 平成27年3月 市議会定例会施政方針(公民連携の検討、水道事業広域化の協議)
 平成28年度 宇部市上下水道事業総合計画策定(予定)

施設の概要

- ◇宇部市: 286.7km²、行政人口: 169千人
- ◇公共下水道事業: 処理人口130千人、4処理区(5,462ha)、3処理場、10雨水ポンプ場、管きよ674km
- ◇水道事業: 給水人口168千人、浄水場2箇所、配水施設19箇所、管路1,098km
- ◇民営ガス事業: 導管221km



調査結果

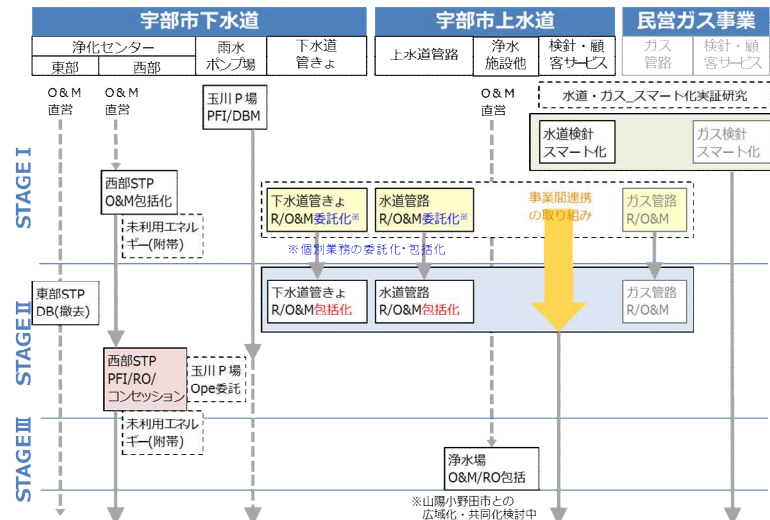
1. 再構築・更新計画

上下水道(上下水管・浄水場・ポンプ場・処理場)の更新費用を検討 **現況: 建設改良投資46億円/年**
⇒ 当面10年: 53~75億円/年に増加

2. 業務負担増減の分析と対応策

1. の再構築・更新業務の増加により局全体で**12%の人員不足** ⇒ PPPの導入により5年後に約10%改善

3. PPP/PFIロードマップ



今後の展望

今後の予定

西部浄化センター委託化	玉川ポンプ場ほかPFI	上下水道・ガス連携	
		管路事業共同化	スマート化
庁内調整	PFI導入可能性調査	協定締結協議(情報共有)	共同研究公募
可能性調査・市場調査	事業者選定・契約	案件調整	共同研究
事業者選定・契約	事業着手・実施	モデル工事の実施	共同研究
維持管理包括委託開始		恒常的仕組みづくり	スマート化の導入

事業化にあたっての課題

- ◇事業スケジュールの調整
- ◇運営事業の詳細スキーム
- ◇事業性の評価

① STAGE I

- 西部浄化センターの維持管理の包括委託
- ガス導管と上下水道管の維持管理・施工・検針等の事業間連携が可能な業務から共同で委託化

② STAGE II

- 西部浄化センターのコンセッション運用
- ガス導管と上下水道管の管路事業の共同発注、包括連携型委託